

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-5-2 雇用・就業の促進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 雇用政策課長 得能 昌信 電話番号 0852-22-5296

事務事業の名称	高年齢者の雇用・就業促進事業	
目的	(1) 対象	高年齢者
	(2) 意図	雇用就業機会の拡大と雇用の安定を図る
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 継続雇用制度の導入の促進を図るため、事業主に対して、各種広報等を通しての啓発等を行う。 県内シルバー人材センターの適正な運営を促進するため、各センターへの指導等を行う。 シルバー人材センターの事業推進を図るため、(公社)シルバー人材センター連合会に対し、運営費等の補助を行う。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	シルバー人材センターの会員数	目標値		4,800	4,800	4,800
			実績値	4,359	3,880	3,785	3,799		
			達成率		80.80	78.90	79.20		%
	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	6,100	6,100
うち一般財源(千円)	6,100	6,100

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・従業員数31人以上の規模の県内企業において、高年齢者確保措置を実施済みの企業の割合は、平成26年6月1日現在、99.7%（対前年比2.8ポイント上昇、全国平均98.1%、都道府県別第2位）
 ・高年齢者の就業先の開拓・就労相談等を行う開拓・相談スタッフを4名配置し就業先の開拓に努めた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成26年度のシルバー人材センター連合会会員数は、前年度と比較し14名（0.4%）増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

シルバー人材センター連合会における会員数はほぼ横ばいの状態。

②困っている状況が発生している「原因」

高年齢者のシルバー人材センターについての理解・周知が十分でない。

③原因を解消するための「課題」

シルバー人材センターへの理解・周知を促進するための取り組みが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

ホームページ等を活用するなど事業の周知・啓発を積極的に取り組む。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）